

わいわい

WA-iwai

7

July 2013
No.197

ホームページ URL: <http://www.wa-iwai.net/>

特集2

特集1

いわいの里の農産振興に係る懇談会

新JAの名称が決定!



わが家のBOSS
紹介は12ページに掲載しています

3

2

特集1	2
特集2	3
良好メール	6
いわいの里に生きる	10
わいわい広場	12

営農・畜産情報	14
JA情報・読者ページ	16
今月のお知らせ	18
いわいの恵みクッキング	20

新JAの名称が決定！ 「いわて平泉」

知名度を優先し全国へ発信



新名称を発表する鈴木組長と千葉組長

JA いわい東とJA いわて南は6月24日、平成26年の合併で誕生する予定の新JAの名称を「いわて平泉農業協同組合（愛称：JA いわて平泉）」と決めました。

JA いわい東の鈴木昭男組長は「歴史文化を頭に描いた中身。新JAが農畜産物を全国に発信するには、平泉の黄金文化という考え方がベスト」、JA いわて南の千葉長吉組長は「今後の組合員の説明会、最終的な合併まで、新JAの名前に恥じないように気を引き締めていきたい」と期待を込めました。

新JAの名称は一般公募で、北は北海道から南は長崎県まで全国440通の応募がありました。複数から「いわて平泉農業協同組合」と寄せられたため、一関市千厩町の農業、佐藤修蔵さん（千厩町）を「名付け親賞」に、千葉栄一さん（室根町）、須藤敏典さん（藤沢町）、佐々木昌夫さん（花泉町）を「特別賞」にそれぞれ選びました。

- ☆両JAの合併にかかる今後のスケジュール
- 平成25年8月上旬 組合員説明会
 - 10月7日 合併契約調印
 - 10月30日 両JA合併臨時総代会
 - 12月上旬 合併認可申請
 - 平成26年3月1日 合併
- （下記スケジュール参照）



将来の地域農業のカタチを探る

特集2

生産者・行政・JAが意見交換 いわいの里の農業振興に係る懇談会

JAは6月18日、いわいの里の農業振興に係る懇談会を千厩町で開きました。県や一関市、JA関係機関、JA各生産部会、女性部、青年部の代表ら約70人が出席し、放射能汚染対策や地域農業マスタープラン、担い手育成などを中心に管内の農業現状と今後の農業振興について意見を交わしました。



JAの鈴木組長は、「JAが司令塔にならないと農業振興は図れない。行政や各部署と連携をとりながら進めていきたい。そのためには、単年度でなく具体的に将来に向けた形の提言を頂きたい」とあいさつ。県や市JAの担当者らが、管内の農業現状と農業振興計画を説明しました。

両磐地区JA合併にかかる第2回組合員説明会開催のお知らせ

組合員の皆さまの負担に添えていけるような盤石な経営を築いていくため、組織・事業の再構築に向け、両磐地区JA合併推進協議会では具体的な協議を進めております。このほど合併経営計画並びに農業振興計画について骨子がまとまりました。

つきましては、組合員の皆さまに説明し、ご意見をいただく機会を設けたことから、左記の日程で説明会を開催いたします。

開催日時	時間	会場（対象地区支店）
8月 5日（月）	10：00～12：00	両磐地域職業訓練センター（千厩・小梨）
	13：30～15：30	奥玉公民館（奥玉）
8月 6日（火）	10：00～12：00	藤沢公民館（藤沢）
	13：30～15：30	黄海公民館（黄海）
8月 7日（水）	10：00～12：00	大東開発センター（興田）
	13：30～15：30	大原公民館（大原）
8月 9日（金）	10：00～12：00	JA室根支店（室根）
	13：30～15：30	JA川崎支店（川崎）
8月 12日（月）	10：00～12：00	JA総合営農センター（大東）
	13：30～15：30	JA東山支店（東山）

◇詳しくは各営農センター・支店へお問い合わせください。

いわいの里の農業振興計画

J Aの25年度の重点取組事項(抜粋)

○農政対策部門

- 集落営農組織支援策(組織の設立や法人化へ向けた取り組み、研修会、集落営農組織の経理支援、経理担当者育成など)
多様な農業者に対する支援策(一関地方トータルサポートシステム「下表参照」)による新規就農者の確保・育成・農業基礎講座の拡大など)
青年部への支援策(女性部と連携した事業の推進、各青年部のポリシールブックの作成、合併に向けた意見交換会、女性会員との意見交換会など)
T A C活動による担い手との連携強化

○米穀部門

- 消費地の多様なニーズに応える栽培の推進(いわい東米を中心に、特産米などこだわり米の生産)
新規需要米の推進(備蓄米、加工

◇生産部会からの意見・要望

- 地域農業マスタープランはどのような形で進めていけばいいのかわからない
学校給食は子どもたちに安全・安心な地元野菜の利用をお願いしたい
子どもたちが農業を職業の選択肢にできるように農業・農家と触れ合う機会をもっと設けてほしい
消費者との接点を多くもてる機会をもっと作ってほしい
利用できない牧草の処理や水田畔草の処理・利用の早期解決を
肉用牛ヘルパー制度の充実を図ってほしい
シイタケの再生産に向けて進めているが、今後原木の単価が上がるなど入手が難しい状況に不安もある。しかし、この里山からシイタケが消えないように、イベントなどにも積極的に参加してP R活動を
行いながら再生産していきたい
農家にとって有害獣のカモシカやサルなどの予防策はあるのか

用米、飼料用米など)

- 食の安全・安心の実践と検査体制の強化

○園芸部門

- 園芸品目の取り扱いの拡大と農家数の維持(定年世代や生シイタケ廃作者を中心に新規栽培者向け講習会の開催など)
いわい東青果物の知名度アップ(マスメディアの活用、レシピ作成による消費宣伝、一関めぐみブランド推進事業と連携した販促活動の充実)
次代へつなぐ安全な産地づくり(放射能・残留農薬検査などの徹底、食育活動の充実)
生産振興推進員の資質向上
ハウス団地化形成(トマト)による青年農業者の確保や育成、生産基盤の拡充

○畜産部門

- 粗飼料の供給と牧草地再生対策の行政と連携した取り組み
生産基盤の維持拡大に向けた優良牛の保留・導入推進(1戸1頭増頭運動、素牛更新率10%運動、導入経費支援対策など)
地域内・農家一貫生産の取り組みによる肉牛生産量の確保
牛舎施設の環境整備による増頭支援
肉用牛ヘルパー制度の充実による

◇市からの情報

- 地域農業マスタープランは今後中心となる経営体はどこなのか、集落で話し合いをもつてほしい。分からない点などは支所などに相談してほしい
小学生、中学生などの食農教育は大切。全体で取り組むことは大変だが学級ごとの親子レクなどでの農業体験も一つの手法であり、そのときは農家との橋渡しができると思う

- 米の販促活動では、地元でのP Rや生産者が消費地の卸業者などに行つて直接販促活動や会話をすることは大切である。生き残れる米は皆さんと一緒に取り組んでいきたい
トマト団地化は新規就農、雇用の確保につながるの応援していきたい
乾草草の一時保管は、グループ保管などで今年度中にまとめていきたい。生活圏からは隔離して保管

利用推進

- 原発事故の賠償請求に係る取り組み(全部門共通)
産地情報発信と販促活動(牛乳・乳製品消費拡大、地域に根ざした消費拡大、いわて南牛地元取扱店との連携による販売推進など)
営農指導と連携した改良と増殖対策
室根高原牧野を活用した労力軽減と規模拡大
中核農家における規模拡大への取

り組み支援

主な情報交換

◇JAから行政への要望

- 集落営農組織の県単事業での農業機械導入予算確保
米の消費拡大と学校給食や市関係施設、行事などでの「いわい東米」の使用・P Rの継続
米卸業者への販促活動、消費地研

「一関地方で新規就農を目指す方」を募集します!

～一関地方新規就農トータルサポートシステム～



一関地方農林業振興協議会では、一関地方で新たに就農を目指す方を対象として、就農に必要な栽培技術等の習得のため、管内の先進農家や農業法人等での研修を実施します。新規就農に向けて研修を希望される方を募集します。

1 応募資格

- 研修終了後に一関市または平泉町で就農される方で、下記に該当する方
【農家出身者】自家の農業経営を継承する方で、概ね40歳未満の方(ただし、他産業経験者は、概ね55歳未満の方)
【非農家出身者】他産業から新規就農を希望する方で、概ね40歳未満の方

2 募集期間

平成25年7月31日(水)まで

3 研修期間

原則2ヵ年(研修生と研修受入先との協議により決定します)

4 研修品目

- 【農家出身者】自家で経営している品目又は新規に栽培したい品目で、研修受入先で対応可能な品目
【非農家出身者】原則として一関地方の重点推進品目(トマト、ミニトマト、ピーマン、キュウリ、ナス、小菊、リンドウ、葉茎菜類)

詳しい内容・お問合せ先

一関地方農林業振興協議会担い手育成部会事務局 ☎0191(52)4961

◇県からの情報

- 地域農業マスタープランは地域の方々の合意形成が大変苦労だと思ふ。きっかけになるのは圃場整備だと考えているので、圃場整備を進めていけるように取り組みたい
学校への食農教育の取り組みは担い手部門の中で活動を進めている
学校給食は県産農林産物など利用率を上げられるように今後もP Rをしていきたい

- シイタケに関する支援などは引き続き進めていきたい
カモシカは天然記念物なので駆除はできない。追い払いや電気柵などで対応するのが望ましい。詳しくは支所に相談してほしい
青年は地域の宝、若い方は地域の活動に引っ張り出される地域の原石。女性は地域の太陽、女性の方が輝いていくと地域が明るくなる。これからも地域が前向きになる励みになってほしい

◎夏秋野菜・生シイタケ販売対策会議

産地と市場間の情報共有の強化を

J Aは6月7日、夏秋野菜・生シイタケ販売対策会議を大東町で開きました。青果卸会社5社やJ Aの生産部会役員、関係機関から42人が出席。生育状況や販売情勢について意見交換し、産地と市場間の情報共有の強化を確認しました。品質面について、J Aの佐藤公一園芸課長は「高温対策や鮮度維持の徹底で、産地ができることを確実にやっていきたい」と話しました。

青果卸会社側からは「降水不足など異常気象やT P Pなどの要因があり、販売動向の予測が難しくなっていくと思うので、スピードと情報の精度を高めていかなければならない」と話しました。J Aの佐藤一専務は「生産者と担当者、担当者と市場の連携をスムーズに行い、出荷量の増減や販売の動向の情報共有の強化に努め有利販売を目指したい」と述べました。



農家組合が集落の軸

「業務推進連絡委員全体会議」と「いわい東米生産振興大会」



大会の席上で「TPP参加断固阻止に関する特別決議」を採択

J Aは6月12日、「業務推進連絡委員全体会議」と「いわい東米生産振興大会」を大東コミュニティセンターで開き、同委員やJ A関係者ら約230人が出席しました。業務推進連絡委員全体会議では、227人の委員に委嘱状を交付。農家組合の機能と役割について確認しました。いわい東米生産振興大会では、消費地から信頼される産地確立を目指し、平成25年産米の集荷販売目標を21万袋(30kg)以上にすることを確認しました。また、大会の席上で「TPP参加断固阻止に関する特別決議」を満場一致で採択しました。鈴木組合長は「集落の力が強くなつていかないと一人ひとりが元気にならない。今後も農家組合が集落の軸となって地域営農を盛り上げていけるように取り組んでいきたい」と述べました。

地域と農業に触れる

藤沢小学校田植え



降り出した雨にも負けず元気に植えました

藤沢小学校では5月30日、田植え体験が行われ、5年生の児童45人が徳田地区の水田6・5畝に「こがねもち」の苗を植えました。この活動は、徳田自治会や老人クラブ、農地・水環境保全向上徳田地区活動組織、PTA、食生活改善推進委員など地域の皆さんの協力・指導により開かれ、今年で3年目となります。児童たちは、水田に引かれた線に沿って丁寧に苗を植えていき、途中から降り出した雨にも負けず「次はどこに植えたらいいですか?」「もっと苗をください!」と元気に声を発しながら最後まで頑張りました。10月には収穫祭も予定しています。

奥玉小のスイートコーン定植体験

おくたま農産が食農教育



移植器を使い苗の定植を楽しむ児童

奥玉小学校のスイートコーン定植体験が6月10日、農事組合法人おくたま農産三沢班のスイートコーン畑2畝の一面で開かれました。3年生21人が参加し、同班作業員、J A職員ら14人の指導の下、2人1組で約1500本の味来(あじまい)の苗を移植器で植えました。同班担当係長の菅野進さんが「種まきから85日おいしいトウモロコシになるので、みんな楽しみにして植えてください」と説明。本田優翔くんは「量が多くて大変だったけど面白かった。収穫したら、いっぱい食べたい」と笑顔。吉田愛羅ちゃんも「早く大きくなってね」と植えていました。8月に収穫体験を予定し、その場でゆでて収穫の喜びも味わいます。

レクとはいえ真剣勝負!

J A女性部千厩中央支部レクリエーション大会



熱い戦いが繰り広げられました

J A女性部千厩中央支部は6月17日、レクリエーション大会を千厩体育館で開きました。競技は管内の4支部対抗戦で、女性部員ら約350人が参加。「人間ドック マメで達者で!」といったユニークな名前の競技など13種目で、真剣勝負を繰り広げました。競技の合間の応援合戦が体育館内に響くとともに参加者の闘志にも火がつき、さらに熱い戦いへと発展しました。農家組合長などの男性陣も多数参加し、日々の農作業で疲れた身体を癒しました。また、地産地消を目的とした牛乳の消費拡大運動も取り入れ、全参加者の喉を潤しました。今大会は奥玉支部の優勝で幕を閉じました。

「いわいの丘」で施設ボランティア

J Aたすけあいハートの会千厩支部



手際よく花苗を移植しました

J Aたすけあいハートの会千厩支部は6月10日、会員9人が参加しJ A介護福祉センター「いわいの丘」で花壇に花苗の移植を行いました。「いわいの丘」ができた当時から行っているボランティアで、雑草が生い茂る花壇での草取りや整地作業、移植など手際がよく、会員同志の息はぴったり。マリーゴールド・アスター・サルビア等の花苗は、会員がそれぞれ種からまいて丹精に育てたもので、配列も色彩良く植えられました。作業を見学しようと訪れた施設利用者は「早く雨が降ればいいね」とねぎらいの言葉を掛け、花でいっぱいになった花壇の回りで散歩する日を楽しみにしていました。

巡回強化し有力産地へ

ピーマン全圃場巡回指導会



それぞれの圃場を観察し合う巡回指導会(6月17日、大東町で)

J Aピーマン部会は6月17日から7月1日までの10日間、全圃場巡回指導会を行いました。例年は1回だった巡回を今年は2回に増やし、1カ月早めました。木の成長段階を左右する大事な時期に圃場を観察し、バランスの取れた成長を促すことが狙い。生産者が営農指導員らと一緒に地域の圃場を観察し、栽培管理を学びながら生産者自身の判断・対応力のレベルアップにつなげています。J Aと一関農業改良センターの担当職員、生産振興推進員が、圃場ごとの生育に合った栽培管理や病害虫防除対策をアドバイス。ハウス栽培では「気温の上昇とともに枝の伸長が旺盛になるので主枝の成長点が一番上になるように」と説明しました。

渡辺採種場で視察研修

J A女性部川崎中央支部



うねには使用した農薬の袋を置いて分かりやすく説明

J A女性部川崎中央支部は6月27日、宮城県
の渡辺採種場瀬峰試験農場で視察研修会を
開き、野菜作りを学びました。

部員26人が参加し、研修室では大根のお勧め
品種やカボチャの作り方を研修。試験農場
に移動し、ミニトマトやネギ、ナスなど野菜
ごとに説明を受け、メモや質問をしていまし
た。試験場ということで、交配させた野菜が
どのように育っているのか並べて見せる工夫
があったり、うねに使用した農薬の袋を置く
など、分かりやすい説明でした。

参加した部員は「新しい発見があって勉強
になった」「さっそく明日から実践したい」と
話していました。
次回予定の秋野菜についての勉強会にも「ぜ
ひ参加したい」と、うれしい声も出ました。

無農薬有機水田で田植え体験

大東町の田んぼの学校



青空の下、無農薬有機水田で田植えをする子どもたち

大東町の田んぼの学校の田植え体験が6月1
日、大原の無農薬有機水田35アで開かれました。
田んぼの学校は一関地方有機農業推進協議会、
大東町レクリエーション協会などが主催。農業
体験を通じ、有機農業者との交流や食育の増進
を図ろうと行われ今年で7年目。

田植えには、市内の親子ら約50人が参加。
有機農業者の指導の下、ひとめぼれの苗を植
えました。植えた場所にはそれぞれ自分の名
前の看板を掲げました。

大原小4年生の勝部蒼野くんは「泥の感触
が気持ちいい。おいしいお米が取れるといい
な」と笑顔を見せました。同協議会の小島幸
喜代表は「無農薬有機栽培なので安心して思
う存分泥んこになって、楽しんでほしい」と
述べました。

TPP反対で街宣活動

J Aいわい東 青年部・女性部



買い物客らにTPPの問題点を呼び掛けました(6月17日、コープ一関コルザで)

J Aの青年部協議会と女性部、職員は6月
17日、一関市のコープ一関コルザと盛岡市の
大通りの2会場に分かれて街宣活動を行いま
した。

コープ一関コルザでは、J Aいわて南の青
年部員や職員らと「TPPのホントのトコロ」
のちらしを買い物客らに配りながら「皆さん
の生活を根底から脅かすTPP。もう一度、
一緒に考えましょう」と呼び掛けました。

なお、J Aいわい東やJ Aいわて南など34
団体で構成する「TPP等と食料・農林水産業・
地域経済を考える両替の会」では昨年からは毎
月最終土曜日、一関市内でTPPの街宣活動
を続けています。

関心高い梅干しづくり

J A女性部講座



「梅きゅうり」



「じゃがいもの梅かつお和え」



受講者で会場はいっぱいに



「蒸し鶏の梅肉ソース」

J A女性部は6月18日、第1回女性部講座
を千厩町の千厩農村環境改善センターで開き、
梅干しづくり・梅料理について学びました。
多くの皆さんが関心を持たれる内容の講座
であることから、約90人の部員が参加。受講
者で会場はいっぱいになりました。

講師には生活シーダーの菊地宣子さん(千
厩町)を迎え、梅の漬け方のほか、梅を使っ
た「梅ごはん」「梅大福」「蒸し鶏の梅肉ソー
ス」「じゃがいもの梅かつお和え」「梅きゅうり」
など簡単料理5品が紹介されました。

部員たちは質問をしながらポイントを確認、
真剣な眼差しで研修を受けていました。

産地情報を提供し有利販売を

J Aミニトマト目ぞろえ会



部会員から新品種の栽培品が紹介され味見しました

J Aミニトマト部会は6月20日、ミニトマ
ト目ぞろえ会を管内2会場で開催しました。出
荷量の安定と品質・食味を重視し、市場との
情報交換で有利販売と信頼される産地を目指
すことを確認しました。

J A総合営農センターには部会員17人が参
加。J A全農いわて県南園芸センターの佐藤
貴法さんが、今年の販売対策について「今年
は産地の出荷動向を市場に伝えて、市場の売
り先を確保してもらえようになりたい」と説
明。J A園芸課の小野寺駿職員が「当J A産
は市場から味、着色とも好評で昨年はクレイ
ム品もなかった。信頼を保てるように過熟果
や未熟果、異物の非混入や収穫後は涼しいと
ころで選別するなど出荷・選別調整は慎重に」
と呼び掛けました。

塩麴づくり講習会 女性部で人気

J A女性部東山中央支部



6月5日、東山中央支部の講習会と料理



6月10日、室根中央支部の講習会 6月4日、生活シーダー研修会

J A女性部東山中央支部では6月5日、永
長産業さんを講師に迎え、話題の塩麴づくり
講習会を開催しました。

部員30人が参加し「えだまめごはん」「キャ
ベツの塩麴あえ」「豚肉のホイル焼き」を調理・
試食しました。参加した部員からは「以前本
を見て塩麴を作ったことがあるがこんなに簡
単には作れなかった。講習会に来て良かった」
と好評でした。

塩麴づくりの講習会は女性部でも大人気で、
5月には川崎中央支部で、6月4日には生活
シーダー研修会で、10日には室根中央支部で
も行われました。

一関市東山町田河津字竹沢

細川 広章さん (40)

Hiroaki Hosokawa

1972年、宮城県栗原市金成生まれ。地元の商業高校を卒業後、一関東工業団地内にある会社に就職。同じ職場で妻：直美さんと知り合い、2000年に結婚し一関市東山町へ。会社に勤めながら細川家の父：正行さん、母：ツサトさんと一緒に農作業に励んでいる。現在は水稲80%と繁殖和牛8頭を経営。子どもは黎奈ちゃん(6年生)、瑠奈ちゃん(3年生)、理央奈ちゃん(4)の3姉妹。田河津スポ少(ソフトボール)の監督も務めている。



Profile

兼業農家は家族の支えがあつてこそ



いわいの里から未来をつくる。高い志のもと、日々“キラリ”と光る活動をしている人たちがいる。そんな魅力あふれる“いわいびと”のメッセージをシリーズで紹介していく。

● 祖父の姿に農業の魅力を感じ

「子どもの頃はいつも、おじいちゃんの後ろを追っかけていましたね」
宮城県栗原市出身の広章さん。実家では水稲と和牛繁殖を営んでいたが、父親はサラリーマンだったため、農業を行っていたのは「おじいちゃんだった」。汗にまみれて命を育む祖父の姿に農業の魅力を感じていたという。

そんな広章さんは、就職した会社で直美さんと知り合い、直美さんの実家である細川家の一員に。幼い頃から農業に慣れ親しんでいたこと、実家と同じ農業を営んでいたこともあり、結婚後すぐに自ら進んで田んぼの仕事と牛の世話を始めた。夜勤明けでも時間を作って牛に触れるほど熱心に取り組み、当時、2頭だった繁殖親牛を現在の頭数(8頭)にまで増やした。鹿児島や青森から良い血統の牛を導入し、授精師と相談しながら良い条件の種を付けていった。

「自家保留で高い牛がでるのが一番だが、いい血統の親牛を導入していくのが近道なのかな」

農業ができるのは、家族の協力があつてこそ。勤めに出ているので、日々の牛の世話は主に父親の正行さん。農作業は家族で協力して行っている。

● 好きだからこそでやる

子牛を上場しない時でも、どういった牛が高い値段で取り引きされるのか見たくて、夜勤明けでも市場へ車を走らせたことも。父親の代わりに和牛改良組合の研修会に参加するなど牛について勉強も熱心だった。

「牛を見に行くのが楽しみでした。好きだからこそでやるんですよ」

そのためか、広章さんが牛の管理をするようになってからは市場平均単価を下回ることはほとんど無くなったという。「目標は平均を上回ることを」を念頭に、今年5月の県南市場では自家保留した親牛の初産の子牛が管内1番の高値で売れた。

● 期待と結果が次への原動力

「今は、会社でも管理する立場になり、休むのは難しくなってきました。スポーツの監督など子どものことも忙しくなってきたので、研修会や市場に行く機会も減りましたが、市場に上場する時は都合が付けば立ち合うようになっています」

市場へ上場する前の休みの日には、牛の手入れをせずにはいられない。新聞を見たりして中央市場や前日の県南市場の成績をチェックして、市場の相場を気にしている。

「市場では、つなぎ場で購買者が自分の牛の前で止まって観察しているのを見ると、期待できるかなとか、自分のセリの順番が近づくとワクワク。結果が付いてくれば次への原動力にもつながると思います」

農業と仕事の両立、その裏には家族の大きな力がある。支え合い、助け合いながら、いわいの里で生きていく。何事も真摯な姿勢で取り組む「いわいびと」広章さんは、家族への感謝も忘れない。

私の一品 My Favorite Item



マイボール

結婚してから本格的に始めたボウリング。直美さんと一緒にマイボールを持ち、週に2回ほど水沢区まで足を運ぶ。愛用しているのが、写真(左)のボール。右は震災があった事を忘れないように部屋に飾っている。最高スコアは練習で出した289。大会では9回ストライクを続けたが、会場アナウンスで放送され、緊張のあまり、くるぶしにぶつけてガターしたことも。

私の一品 My Favorite Item



田河津スポーツ少年団の監督

中学・高校では柔道部に所属していた広章さんだが、娘さんが所属するスポ少の追っかけをしているうちに、前監督に誘われてはじめて監督業は、今年で2年目。「今年は田河津小が最後の年なので、歴史を刻めるような形が残せれば」と意気込む。ソフトボール経験者である直美さんもコーチを務めている。目指すは県大会！抱っこしているのが3女の理央奈ちゃん。大きくなったらお母さんやお姉ちゃんたちのようにソフトやるのかな？



7月
今月のあなたの運勢
7月10日～8月9日
モナ・カサンドラ

牡羊座 3/21～4/19
【全体運】ささいなことでもイライラしやすい。常に笑顔を手掛ければ、幸運を引き寄せられるはず。趣味に没頭のも◎
【健康運】徐々に下り坂。バランスの取れた食事を
【幸運を呼ぶ食べ物】カボチャ

牡牛座 4/20～5/20
【全体運】コミュニケーション運が活性化。初対面の相手とも楽しく話が弾みそう。話題のスポットへ出掛けるのも刺激に
【健康運】回復傾向。小まめに動くの良い影響が
【幸運を呼ぶ食べ物】オクラ

双子座 5/21～6/21
【全体運】リラックス気分で過ごせる期間。自分が好きなことを満喫し、プライベートタイムを充実させて、散歩にもツキ
【健康運】疲れをため込みやすいので、休憩が必要
【幸運を呼ぶ食べ物】カンパチ

蟹座 6/22～7/22
【全体運】勢いに乗り、積極的になれる。初めてのことに意欲的に取り組みは好結果に。チャレンジ精神が幸運の鍵
【健康運】不安定。不注意によるけがに気をつけて
【幸運を呼ぶ食べ物】モロヘイヤ

獅子座 7/23～8/22
【全体運】サービス精神を発揮すると、対人面に好変化が。思わぬサポートに恵まれるかも。協調性のある言動も忘れずに
【健康運】下り坂。ストレッチが気分転換にも最適
【幸運を呼ぶ食べ物】トマト

乙女座 8/23～9/22
【全体運】知的好奇心が旺盛になる月。カルチャーセンターの体験講座を受けたり、講演を聞いたりして。うれしい発見あり
【健康運】次第に上向きそう。足湯でリラックスを
【幸運を呼ぶ食べ物】ニガウリ

天秤座 9/23～10/23
【全体運】自分の考えに固執しやすくなる暗示。周囲の意見を耳を傾けるようにして。気晴らしにはクラシックの鑑賞が吉
【健康運】運動するチャンス。ただし無理は禁物
【幸運を呼ぶ食べ物】サクランボ

蠍座 10/24～11/22
【全体運】やりたいことに挑戦すれば、予想以上の手応えを感じられる時期。思い切ってアクションを。メール交換も幸運
【健康運】ゆっくり上昇。体力アップに励んでみて
【幸運を呼ぶ食べ物】桃

射手座 11/23～12/21
【全体運】エネルギーの無駄遣いが多くなる模様。やたらと勤練ったり、疑ったりしないこと。ハーブティーで心を静めて
【健康運】ストレス過多気味。自分の時間を大切に
【幸運を呼ぶ食べ物】イワシ

山羊座 12/22～1/19
【全体運】考えが両極端になり、トラブルを引き起こしやすいかも。信頼できる人に意見を求めて、観劇でリフレッシュを
【健康運】神経質になり過ぎ、悪影響が。ほどほどに
【幸運を呼ぶ食べ物】スイカ

水瓶座 1/20～2/18
【全体運】心理的に不安を抱きやすいので、意識的にポジティブな発想を。根拠のないうわさに関わるのもNG。冷静に
【健康運】油断は禁物。適宜、疲労の解消に努めて
【幸運を呼ぶ食べ物】ニンニク

魚座 2/19～3/20
【全体運】クリエイティブな作業に幸運が。絵を描いたり、作詞をしたり、創作に夢中になると、ガンと気力が高まりそう
【健康運】ますます。アウトドアで過ごすのも正解
【幸運を呼ぶ食べ物】ナス

【モナ・カサンドラ プロフィール】
古いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探究。コンピューターによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動をはじめ、さらなる占星の研究を重ねている。
ルネ・ヴァン・ダール研究所 http://www.rene-v.com/



寄り添える
ような先生に

ち え み
菅原千絵美さん(22)

大東町猿沢字宿通 前

4月から大東小学校で、すこやかサポーターの先生をしている千絵美さん。主に3年生の算数や国語などの授業をサポートしています。
実際に学校で子どもたちと接してきて、子どもたちが何かを成し遂げることや、その過程で考えて成長していく姿を感じられるので、千絵美さんは、さらに先生という職業の魅力を実感しています。「子どもたちが意識しなくても寄り添えるような先生になり、時には厳しく、時には優しく、安心して楽しく学校に來たいと思えるように接していきたい。そのために、まずは地元での教員採用試験に合格できるようにがんばります」と意欲を示します。
農業と学校の関わりについて「学校は地域に支えられている。田植え体験みたいに農業や地域に結びつくような学習が増えれば、子どもたちがこの地域で何かをしたいという気持ちが高まるのでは」と話してくれました。

すぽっとらいと

お中元にいかが!

●いわいの米めん

2食入:300円、贈答用4食化粧箱入:1,050円
など各営農センターでご注文できます。

そのほか管内Aコープ各店舗、神文ストアせんまや店、産直センターひがしやま「季節館」でもお求めになれます。

おいしさそのまま丸絞り!

●わ・いわいとマトジュース

●わ・いわいリンゴジュース

各営農センターで販売(30缶入:各2,500円)。贈答用詰合せもあります。

そのほか管内Aコープ各店舗、神文ストア各店舗(トマトジュースのみ)でもお求めになれます。



わが家のBoss

室根町矢越字山古沢

- 三浦 杏莉ちゃん (7)
日舞莉ちゃん (5)
悠聖くん (3)

【家族紹介】お父さん:優作さん お母さん:恵美さん
おじいさん:節雄さん おばあさん:きく子さん



表紙のボクたち、ワタシたち

子どもたちへ

- お父さんより いつも笑顔で元気いっぱい、それを見てみんなが笑顔になれるように。
お母さんより 自分の考えを常に持てるような芯のある子になってほしい。
おじいさんより 明るく、優しい子に育ててほしい!
おばあさんより 何より健康で丈夫な体に育ててくれれば。

室根西小学校1年生の杏莉ちゃん、学校でプールに入るのが楽しみ。4月から藤沢町のスイミングスクールに通っています。「もぐることができるようになったので、20m泳げたらいいな」と話します。
上折壁児童館の年中さんの日舞莉ちゃんは、最近手紙を書くことにはまっています。手紙の相手はお母さん。手紙には「いつもおもしろいやりとりをつづけてくれてありがとう」とか、いろいろ書いています。それに応えるようにお母さんも愛情込めて作っています。
年少さんの悠聖くんは、虫取りが大好き。石をひっくり返してダンゴ虫を探したり、カエルを見つけたりしています。お父さんとカブトムシを捕まえに行くことを今から楽しみにしています。



この写真は私が18年前まで24年間、狛鼻溪の船頭をしていた時の1コマです。

私は、船頭として『岩の中に、小さな草木が立って、極寒にも耐えて生き抜く生命力の偉大さ』についてお話をしてきました。

船頭をしていた時に、一通の手紙が届きました。それは、恋に破れた兵庫県の女性からでした。「狛鼻溪を訪れ、岩の上から飛び降りて死んでしまおうかと思ったのですが、ユーモアのある話、自然から生き方を学べる話、栄二さんの岩手民謡を聴いて生きようと決心しました」という内容でした。私から「元気をもらいました」という文章を見て嬉しくなり、今でも船頭をやってきて良かったなと思っています。手紙の返信には「親の苦勞を考えなさい」と書き添えました。

仕事でも、日常でも「心から愛すれば愛される」と考えて生活をしてきました。旅愁を癒し、人の命を救うことができたことは船頭をやっている一番思い出に残った出来事でした。

思い出の一枚

No.183

千葉 栄二さん(83) 川崎町門崎館畑



いわい東米だより

7月号

平成 25 年産米売渡委託数量は 210,832 袋 / 30kg

平成 25 年産米の売渡委託数量は6月 15 日現在、水稲主食用うるち・もち玄米の合計で 210,832 袋 / 30kg の委託をいただきました。

生産者の皆様におかれましては、出来秋には出荷契約数量以上でも買入をしますのでお米は全量 JA へ出荷していただきますようお願いいたします。

平成 25 年産米売渡委託契約品種別数量

6月 15 日現在 (単位: 袋 / 30kg)

品 種	千厩	藤 沢	大 東	東 山	室 根	川 崎	合 計
ひとめぼれ	52,462	44,509	48,385	18,239	8,994	18,289	190,878
あきたこまち	2,744	485	2,784	423	11,097	30	17,563
その他	30	222	1,375	10	176	70	1,883
うるち計	55,236	45,216	52,544	18,672	20,267	18,389	210,324
もち米計	103	126	243	13	14	9	508
合 計	55,339	45,342	52,787	18,685	20,281	18,398	210,832

放射能対策チームからのお知らせ

県産野菜等の放射性物質検査結果について

一関市管内の野菜等下記の品目において、放射性物質検査を実施した結果、全て不検出でした。

キュウリ (ハウス) 4月 23 日(測定) ピーマン (ハウス) 5月 14 日(測定)
 トマト (ハウス) 5月 24 日(測定) 菌床シイタケ 6月 27 日(測定)

(県ホームページより抜粋)

※ JA の自主検査 (出荷物) は随時行っております。

6月6日 最高販売額の血統構成
 雌 ~父: 安福久、母の父: 百合茂、祖母の父: 神高福 去勢 ~父: 来待招福、母の父: 勝忠平、祖母の父: 安福 165 の 9

営 農 センター	雌				去勢				合計		
	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	平均価格	前同比 (%)
千 厩	36	706	268	409,792	24	583	383	470,181	60	433,948	96.0
藤 沢	9	509	355	423,967	12	591	420	485,013	21	458,850	102.1
大 東	26	742	208	442,090	39	651	340	488,277	65	469,802	105.3
東 山	4	457	342	412,388	11	550	319	475,077	15	458,360	93.3
室 根	19	608	340	445,753	20	602	407	497,543	39	472,312	101.1
川 崎	3	428	336	368,550	3	501	476	488,950	6	428,750	90.6
合計・平均	97	742	208	425,640	109	651	319	484,320	206	456,689	99.9

(単位: 円、ただし高値・安値は千円) 税込

格 付	雌			去勢			上物率 (格付4等級以上)
	枝重 (kg)	単価 (円)	販売額 (円)	枝重 (kg)	単価 (円)	販売額 (円)	
J A 5 等級	392	1,884	738,738	493	2,061	1,016,758	57.5%
J A 4 等級	342	1,773	605,611	452	1,786	807,708	
J A 3 等級	344	1,652	569,182	365	1,642	599,009	
JA いわい東販売分	販売頭数			40 頭			

JA いわい東集荷月間最高販売牛血統紹介

* 雌の部
 福金 × 第 1 花園 × 雪国
 A 5 No.8 369 kg 2,005 円

* 去勢の部
 菊福秀 × 百合茂 × 平茂勝
 A 5 No.9 519 kg 2,253 円

JA いわい東 営農・畜産情報

このコーナーでは、稲作・園芸・野菜・畜産などに関するさまざまな情報を紹介します。

地元消費者に夏秋野菜をPR A コープ店で販促活動



トマトジュース試飲も好評

JA は6月 20 日から 22 日まで、販促活動を A コープひがしやま店いちば館で行い、買い物客に地元野菜や地元食材加工品のおいしさを PR しました。

初日は JA 職員がトマトやピーマン、キュウリなど夏秋野菜のほか、いわい東米やトマトジュースの試食・販売を行いました。期間中にはピーマンの詰め放題や「いわいの米めん」の試食・販売も行い、トマトジュースの試飲では「トマトそのものの味でおいしい」「料理にも合いそうね」と好評でした。

販売した JA 販売促進チーム荒川透マネージャーは「地元消費者にも夏秋野菜の販売が始まったことをアピールして消費拡大につながれば」と話しました。

「いわて南牛」を核とした経済活動を調査 東北大生が肥育農家を視察



牛舎の牛に触れ合う東北大生

東北大学理学部の地圏環境科の学生ら 8 人が6月 24 日から 28 日の5日間、野外学習の一環で一関市を訪れ、いわて南牛について調査しました。市内の JA や肥育農家、販売店を訪問。生産・加工・販売などの実態を聞き取り、牛肉を中核とした農商工を絡めた6次産業化など経済活動を調べました。

26 日には、藤沢町黄海の肥育農家千葉隆一さんと及川正一さんの2戸を訪問。牛舎を見学し、経営や販売への取り組みなど農家に質問しました。千葉さんは「いわて南牛取扱店の拡充や販促イベントなどブランド力の強化を図っているが、もっと地域で消費できる形が増えてくれば、6次産業化への可能性も見えてくるのでは」と話しました。

家庭菜園を楽しもう!

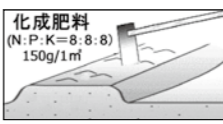
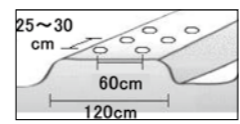
渡辺採種場のおすすめ

ダイコンは古くから日本人に親しまれてきた野菜でさまざまな形の品種があります。葉も食べられ捨てる場所が無いのも特徴のひとつです。

【畑の準備】
 植え付け1週間前までに1㎡あたり化成肥料150gと、土壌によって石灰(100g程度)をまいて、できるだけ深く耕します。小石やゴミなどがあると又根になったりするので取り除きます。

【タネまき】
 ビンを利用して、株間25〜30cm、条間60cmとなるように穴をつくり、1カ所に4〜5粒ずつタネをまきます。1cmくらい土をかぶせ、上から軽く押さえます。

【間引き】
 発芽するまでは、土を乾かさなないようにしましょう。発芽がそろい、混み合ってきたら、



本葉2、3枚のところに2本を残して1回目の間引きをします。本葉5〜6枚のころ、2回目の間引きで1本立ちにします。

【追肥と中耕】
 それぞれの間引き後、条間に施肥溝をつくり、追肥(それぞれ1㎡あたり50〜60g)します。肥料をかぶせるのを兼ねて土寄せも行います。

【収穫】
 地上部に抜き出てきて、ダイコンが十分に太ったら収穫です。ス入りや裂根が発生するので適期の収穫を心掛けましょう。



渡辺採種場がおすすめ
 美味しい大根3品種

「市の宮」サラダ、大根煮
 お盆頃〜8月下旬まき、10〜11月穫り

「本宮」サラダ、大根煮、漬物
 8月下旬まき、11〜12月穫り

「水月聖護院」漬物(千枚漬)
 お盆頃〜8月下旬まき、10〜11月穫り



Thank you! お便り ありがとう

毎年ハーブの発芽に苦労していましたが、今年は大成功！バジル、タイム、ローズマリー。ハーブ用にブレンドした土が良かったようです。(千原町・Yさん)

待ち望んでいた初孫が誕生(外孫ですが)。携帯電話の中に写真やムービーも保存してあるので、いつでもどこでも見ることが出来ます。何度見ても飽きないし、見るたびに癒されます。楽しみが増えました。(室根町・Sさん)

今年もツバメが飛来し、4羽のヒナが来ました。今飛び立つ練習中ですよ。巣立つ日が楽しみです。(藤沢町・Mさん)

先日、他県にて車が故障し走行不能。保険屋さん、レッカー屋さん、そして閉店にもかかわらず車屋さんが良心的にも診てくれて、何とか帰ってくる事ができました。人間ってすばらしい！(藤沢町・Gさん)

今まで雨が降らず、野菜に毎日水をかけ「大きくなれ」「おいしい野菜になれ」と願いながら、やっと待望の「梅雨入り宣言」カラ梅雨ではありませんように！(東山町・Kさん)

久しぶりの雨に心までしっとり、洗われそうなそんな夕方。ニューバイとは名ばかりのこの季節。もう少し雨が降ってくれることを願っています。(室根町・Oさん)

待ちに待った雨が降り、野菜も稲もいよいよ育ち始めています。梅雨入り長雨になる、気持ちはブルーに。雨の日はゆっくりと体を休め、農作業を頑張ります！(大東町・Mさん)

初めてジャガイモを植えました。芽が出て喜びと成長を日々楽しみながら草と戦っています。今まで母がやっていたのですが、体が調が思わしくなく、バトンが渡されました。教わりながらトライしています。(大東町・Cさん)

家庭菜園のタマネギがそろそろ収穫の時期です。子どもたちにもたけに送る予定です。(大東町・Sさん)

「あまちゃん」旋風が巻き起こっています!!「じえいじえい」に続き、会話のどこに「あまちゃんゼリフ」を入れられるか?!競争です。(室根町・Iさん)

6月号の塩麴の作り方。とても参考になりました。暑くなってきたので発酵が早そうですね。溜まったガスで爆発しないように注意しないと...!!(東山町・Oさん)

JAも合併間近。新たに名前も決まったようです。私たち農家にとっては大黒柱とも言える機関です。誰もが合併して便利になり良かったと言え、農業協会の協力であったらいいですね。(大東町・Aさん)

とびす ~JA介護福祉センターから~

川崎町民生児童委員協議会が施設見学

協議会員15人が施設内や福祉車両を見学し、「組織を利用した総合的な事業が行なわれている良い施設だね」と感想を述べられました。



介護サービスに関するご相談・お申し込み・お問い合わせは



ドライブ&ドライブ



6月上旬、室根山のつつじ祭りドライブに行きました。大きな声で「ヤッホー」と「こたまが聞こえだいが」。ここで食べるおやつはうんまいね〜と、いつもより会話がはずみます。

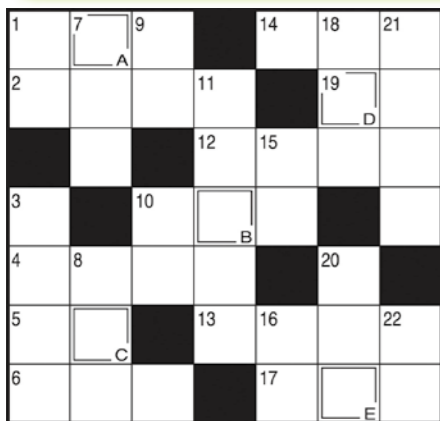


6月下旬、「狛鼻溪の船下りドライブ」に行きました。「いってきま〜す」と手を振り出発です。「魚いだいた」久しぶりの船下りでお土産話に花が咲きます。

クロスワードパズル

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

正解者の中から10名の方に『図書カード(500円券)』または『ガソリン券(500円券)』のいずれかを進呈いたします。



タテのカギ
① はしやぎ過ぎて外さないようにね
② 日本三名園の一つ、兼六園がある県
③ 旅館でお客さまのお世話をします
④ 豆類を暗い場所で発芽させたもの
⑤ 釣った魚を入れます
⑥ 焼き肉店のメニューで、牛の第一胃
⑦ なかなか止ま(ヒック)らないんだよね(ヒック)
⑧ 弓に矢をつがえて狙います
⑨ 明ければ夏本番
⑩ リボンをちよう——にした
⑪ 柔道場に敷き詰められているもの
⑫ 人手が加わっていること
⑬ 授粉——呼吸
⑭ 温泉地の多い静岡県の——半島

ヨコのカギ
① 打ち上げ、線香、ねずみといえは
② 布で——をしてスイカ割りをした
③ 短歌の七・七の部分
④ 虫よけのため布団を囲んでつるします
⑤ 日本風にしつらえた部屋のこと
⑥ 野球のキャッチャーが手にはめます
⑦ ヤッホー(ヤッホー)
⑧ 3D映像は——的に見えます
⑨ 「——を曲げる」とは、気分を損ねてわざと意地悪く振る舞うこと
⑩ のごとく金銭を使う
⑪ 尺貫法の長さの単位の一つ

官製はがきの裏に
①クイズの答え ②身近な話題や本紙へ一言 ③希望のプレゼント ④あなたの住所、氏名、年齢 をご記入の上、
〒029-0803
一関市千厩町千厩字下駒場283-1
JAいわい東 企画課
までお送りください。
●ご応募はFAX(52-5213)、Eメールでも受け付けます。
Eメールアドレス waiwai@jaiwate.or.jp
締切日 平成25年7月25日(当日消印有効)
皆さまからのご応募お待ちしております。

いわいの里の 女性部・青年部 JA YOUTH Vol.27

このコーナーでは、女性部・青年部活動を紹介します。

青年部員が園児に食農教育

JAいわい東藤沢青年部

JA藤沢青年部は6月21日、藤沢町の黄海こども園の園児を招き、種まき体験を青年部の大住正樹さんの畑で行いました。3~5歳児の園児42人が青年部員ら6人の指導の下、ジャガイモやエダマメ、ラッカセイなどを植えました。大住さんが「このラッカセイは昨年、先輩やみんなが植えて収穫したものです」と説明。園児は「おばあちゃんの畑でも野菜を植えているけど、みんなでやる作業は楽しい」「成長が楽しみ、収穫したら食べてみたい」と喜んでいました。及川佳幸青年部長は「土に触れおもしろいと感じ、大人になっても楽しい記憶として残ってくれば」と期待を寄せています。秋には収穫祭も予定しています。



▲青年部員から種の植え方を教わる園児

緑のカーテンなどの活動も!



JA藤沢営農センターにアサガオやゴーヤを植えて緑のカーテンを作ったり、トウモロコシ(爆裂種)も定植し、JAまつりでポップコーンにして販売するなど青年部活動に取り組んでいます。

なぜ小学校に「二宮金次郎像」が
建立されたのか

役員ノート
notebook

代表理事組合長
鈴木 昭男

旧東磐井郡管内の小学校には現在でも「二宮金次郎像」が残っている小学校があります。小梨小、藤沢小、黄海小、猿沢小、長坂小、室根東小、旧門崎小など 20 校位は存在しています。なぜ「中学校にはないのだろう」と考える人もありますが、現在の市町村立の中学校は終戦後の教育改革による新制度で、六三制で発足したためであります。金次郎像は、昭和 13 年の日中戦争が勃発した頃から、国家総動員法や国民精神総動員運動などが開始され、太平洋戦争が始まる頃までに地区の有志によって建立されたものが、ほとんど。全国の小学校に 3,500 体ぐらい建立されたと伝えられています。



旧京津畑小にある金次郎像

そして二宮金次郎（尊徳）は明治、大正、昭和と小学校の教科書に登場し、80 才以上の方々なら記憶にあると思います。戦前には小学校 3 年生の修身（現在では道徳）に「孝行」「親の恩」「兄弟仲良く」「仕事に励め」「親類」「学問」「勤儉」の 7 項目を教えていました。明治 44 年からは小学唱歌「二宮金次郎」の歌詞の中に「手本は二宮金次郎」と歌われ、当時から立派な人物として評価されています。最近では多くの企業経営者や学者、運動家が尊徳の思想と手法を基本にとらえ、経営や組織活動に成功している人々が増えていますし、多くの著書も出回っています。

(つづく)

理事会報告

次の事項について審議され、原案通り可決されました。

第 7 回 6月26日開催

- ・平成24年度監事監査報告書(決算)に対する回答書の提出
- ・平成25年度不良債権処理方針の決定
- ・固定資産の取得
- ・2013年ディスクロージャー誌の作成
- ・平成25年度理事の個別報酬
- ・職員給与規程の一部変更
- ・両磐地区 J A 合併にかかる組合員説明会の開催

平成26年度採用JA職員募集中!

詳しくは、右のページおよび
当JAホームページで

いわい東 検索

理事の職務の遂行に関する
情報提供受付窓口

当組合の監事は、組合経営の健全な発展に資するため、理事の職務の遂行に関する組合員からの情報提供の受付窓口を設置しています。

当組合の理事の組合経営に関する不正を疑わせる行為、法令若しくは定款に違反していると思われる行為など、お気付きの情報がございましたら電話または封書にて下記宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

いわい東農業協同組合 監事会

連絡先

◎住所 〒029-0803
一関市千厩町千厩字下駒場283-1

◎電話番号 0191-52-5500

◎部署名 いわい東農業協同組合本店 監査室

◎受付監事 常勤監事 小野寺 宏 宛

※お電話の場合は、月曜から金曜（祝日等休日を除く）の午前9時から午後5時の間にお願いします。

※受け付ける情報は理事の組合経営に関する事象に限らせていただきます。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

支店窓口水曜時間延長実施日

7月 3日、10日、17日、24日

8月 7日、21日、28日

※7月31日、8月14日は延長営業を行いません。
午後7時まで営業していますので、どうぞご利用ください。

JAの概況

(平成25年5月末)

正組合員数	9,113人	貯金	655.2億円
准組合員数	3,153人	貸出金	93.1億円
組合員数計	12,266人	有価証券	103.3億円
正組合員戸数	8,731戸	購買品供給高	22.2億円
准組合員戸数	1,798戸	販売品販売高	12.1億円
組合員戸数計	10,529戸	長期共済保有高	4397.0億円
		出資金	25.1億円

平成26年度採用JA職員募集(第2回)のお知らせ

心身ともに健全で創造性と行動力に富み、地域農業の振興に興味と意欲あふれる方の
応募をお待ちしております。

1. 職種及び募集人員

農協業務全般
(一般事務・営業・営農指導・農業機械事業・ガス事業)
若干名

2. 応募資格

高校卒業以上の方、または平成26年3月に卒業見込みの方で、
昭和56年4月2日から平成28年4月1日までに生まれた方。

3. 応募受付期間

平成25年8月1日(木)から9月9日(月)まで

※ただし、高校生の受付期間は9月5日(木)から9月9日(月)です。

4. 応募書類の提出先

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字下駒場283-1

いわい東農業協同組合 総務部人事研修課

(郵送の場合は書留にしてください。また持込の場合は土、日の受付は
しません)

5. 選考方法

(1) 書類選考

(2) 一次試験(学科・適性・論文)

①試験日時 平成25年9月21日(土)

◇受付 午前8時30分から8時45分

◇試験 午前9時から

②試験会場 岩手南農業協同組合 本店

(〒021-0027 一関市竹山町7-1)

(3) 二次試験(口述)

(一次試験合格者に別途通知します)

6. その他

現在協議中の両磐地区のJA(JAいわい東とJAいわて南)
が合併した場合、合併JAに採用し、労働条件も新JAの規定
によります。

※募集要項および応募書類は本店と各営農センターにございます。
また、ホームページにも掲載しております。
ホームページURL: <http://www.wa-iwai.net/>

◇お問い合わせ先◇

総務部 人事研修課

電話 0191-52-5500 FAX 0191-52-5213



共済渉外
佐藤吉広

信用渉外
三浦博貴

支店長代理
八島恵介

支店長
小野寺 芳

共済渉外
遠藤武宏

信用窓口
那須 翔

信用窓口
阿部久美

短期共済
佐藤未来

長期共済
中津山幸枝

信用渉外
山本こずえ

信用窓口
千葉宏美

共済渉外
千葉典子

私たちに
お任せ
ください!

《支店職員紹介》
室根支店

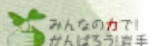
支店のモットー

“親切” 地域に愛される支店

いつも明るく元気に! 親切丁寧な対応を目指しております。

どうぞお気軽にご相談ください。

皆様のご来店をお待ちしております。



作者

のおはなし



・召し上がる際は、スプーンなどで「めんつゆ」を掛けた方が食べやすいでしょう。
・お好みでフサビや七味唐辛子などを添えてどうぞ。



Let's Cooking

「きゅうり巻きそうめん」

千厩町磐清水字下向 ^{しもむかい} 渡辺 ^{たくこ} 拓子さん

◀材料▶ 4人分

Aコープそうめん……………1把
キュウリ……………3本
卵……………1個
梅干……………5個
塩……………少々
青海苔……………少々

◀作り方▶

- ① 卵は溶きほぐし、薄焼きにして、錦糸卵を作っておく。
- ② 梅干は種を取り、つぶしておく。
- ③ キュウリはピーラー(皮むき)で縦にスライスし、塩水に浸しておく。
- ④ そうめんをゆで上げる。
- ⑤ 巻き簾にキュウリを縦にならべ、そうめんを横に置き、細巻きを作る要領で巻く。
- ⑥ 巻き終わったら、キュウリの幅に合わせて、そうめんを切る。
- ⑦ 器に盛り、錦糸卵や梅干を飾り、青海苔で色づけして出来上がり。

いわいの恵みツッキング

編集
後記

▼来年3月からスタートする予定の新JAの名称が決まりました。2011年6月に世界遺産登録された“平泉”をエリアとする新JA「いわて平泉」。地域農業も将来に受け継がれる大事な文化としながら、その世界遺産の名に負けない誇れるJAになれるように、組合員の皆さんと一緒に創り上げていきたいですね。

▼最近、管内でもクマの目撃情報が相次いでいます。私の机の後ろにいる職員も「昨日クマを見ちゃった(汗)」って言っていました。県のホームページによると、とにかくクマに遭わない工夫をすることが必要。出没情報を収集し危険な場所には近づかない。鈴、笛、ラジオを携帯するなど、人間がいることをクマに知らせる。もしクマに遭遇してしまったら、あわてず騒がない、急に立ち上がったりを投げたりしない、背中を見せて走って逃げたりしない、クマの動きを見ながらゆっくり後退する一など。でも、実際に遭遇したらビビっちゃいますね。(千葉)

JAバンクローン
『なんでも』相談会

開催日時：8月25日(日) 午前9時～午後3時
開催店舗：千厩支店、藤沢支店、大東支店、
東山支店、室根支店、川崎支店

お気軽にご来店ください。

お問い合わせは、
各支店窓口・本店金融課へ ☎52-4633

